



## 国際理解出前講座

# 素顔の中国

講師：于 恒紅さん

6月28日（火）に青山公民館において、国際理解出前講座「素顔の中国」を実施しました。講師は、姫路市の姉妹都市である中国・<sup>タイゲン</sup>太原市出身の<sup>ウ</sup>于<sup>コウコウ</sup>恒紅さんです。

中国では、旧暦のお正月「春節」に爆竹を鳴らし、赤い飾りを家じゅうに吊るします。これは、「<sup>ニエン</sup>年」という怪物が大晦日に村にやってくるのを老人が爆竹と明かりで追い払ったという伝説に由来しているそうです。

1949年以降男女平等が進められ、「女性が働き、男性も家事や育児をするのは当たり前」という意外な一面や、人口の急増を防ぐために一人っ子政策を続けてきましたが、様々な悪影響があり今年廃止されたことなどを日本と比較しながら分かりやすくお話しされました。



食文化にも大きな違いがあります。魚も豚も丸ごと調理するのが縁起が良いとされること、食事を平らげるとまだ足りないと思われてどんどん出てくること、残すことは失礼ではないが、最近はおもたないで残ったら持ち帰るのが一般的になりつつあることなどが紹介されました。また、漢方の考え方から、夏でも飲み物は冷やさずに飲むそうです。

ミニ中国語講座では、日本人にとっては難しいとされる四声の説明と、「你好」「<sup>ニーハオ</sup>謝謝」などの簡単なあいさつを練習しました。

参加者のみなさんはメモをとったり、于さんからのクイズに積極的に答えたりと熱心な様子でした。